

## 基本理念

農業遺産から産業・文化・生活の発信拠点に！

### 「道の駅」のポイント！

#### ①地域資源の価値発信で 地域ブランド力向上！

- 世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を展示・ワークショップなどで体験。
- ガーデンツーリズムのスポットを道の駅を通じて回遊。
- 落ち葉堆肥農法を活かした野菜・加工品を販売。



#### ②大規模災害に対する 防災機能強化！

- 物資輸送・支援活動の中継拠点として広域的な防災支援を支える拠点。
- 発災直後に避難者へ水や毛布などの備蓄品を提供する場。
- 災害復旧車両の中継地として利用。



#### ③多世代の交流で ウェルビーイングの実現！

- キッズスペースなどの設置で子育て世代が来訪。
- 地元農家や事業者との協働によるマルシェ・イベント開催による来訪。
- 農と健康のミュージアムへの学習参加や多目的室での研修による来訪。



みよしの未来に向けて

地域活性化！交流を生み、三芳の魅力を発信！

# 「道の駅」整備事業

道の駅整備準備室 ☎227・228



### 道の駅整備事業の 今後のスケジュール



※この図案は計画案であり、今後参入事業者の提案により変更になることがあります。

## 道の駅のコンセプト



### 進化する道の駅

令和6年にフルイン  
ター化の供用が始ま  
り、関越自動車道の  
上下線とも乗り降りができるよ  
うになった町の「西の玄関口」、  
三芳スマートIC（インターチェ  
ンジ）。

アクセスが良好になり、より  
多くの人が訪れるようになった  
三芳町では町の魅力を発信する  
ために三芳スマートIC付近に  
「道の駅」を建設する「道の駅  
整備事業」が動き出しています。

近年、道の駅が担う役割が拡  
大しており、その機能も大きく  
変化しています。

当初、「通過する道路利用者の  
サービス提供の場」として位  
置づけられていた道の駅は、従  
来の休憩・特産品販売に加え、  
「地域創生・観光を加速する拠  
点」として、多くの人から注目  
を集める施設になりました。

今月の特集は「道の駅」。令和  
12年度に供用を予定している「道  
の駅」の概要に迫っていきます。